

高校生
1年間留学・セメスター留学
プログラムのご案内



近畿日本ツーリスト

関西国際交流センター(KIEC)

目次

- 3 グローバル人材育成について
- 5 留学について・日本の高等学校の復学(単位認定制度)について
- 6 ニュージーランドの教育制度
- 7 オーストラリア 留学プログラム
- 8 カナダ 留学プログラム
- 9 参加資格・出願資格
- 10 注意事項
- 11 トータルサポートサービス内容と規定
- 12 申し込み方法と手順
- 13 留学実施体制
- 14 カウンセリング～申込み～出発～留學生活～帰国までのステップ
- 15 留学を成功のポイントとQ&A
- 16 緊急連絡網と特別補償
- 17 トータルアシスタントサービス
- 18～19 近畿日本ツーリストの海外ネットワークとプロフィール
- 21 高校生長期留学プログラム 選考願書

取扱旅行会社:

近畿日本ツーリスト株式会社

関西国際交流センター(KIEC)

〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-4-38 近鉄新難波ビル8階

TEL:06-6634-0690 FAX:06-6634-0693

観光庁長官旅行業登録第1944号

はじめに グローバル人材育成について

私たち近畿日本ツーリスト関西国際交流センター(KIEC)は、約20年にわたり、中学・高校・大学の海外研修や留学など英語教育、国際理解教育、キャリア教育に携わっています。

「今の若者は海外に出ない内向き思考」といわれていますが、果たして本当にそうでしょうか？

確かにそこに行かなくてもネットでいくらでも情報は取れますから行く必要が無いと感じるものもあるかもしれませんが、そこに行く動機と期待感を持たせる環境作りが必要かと思えます。

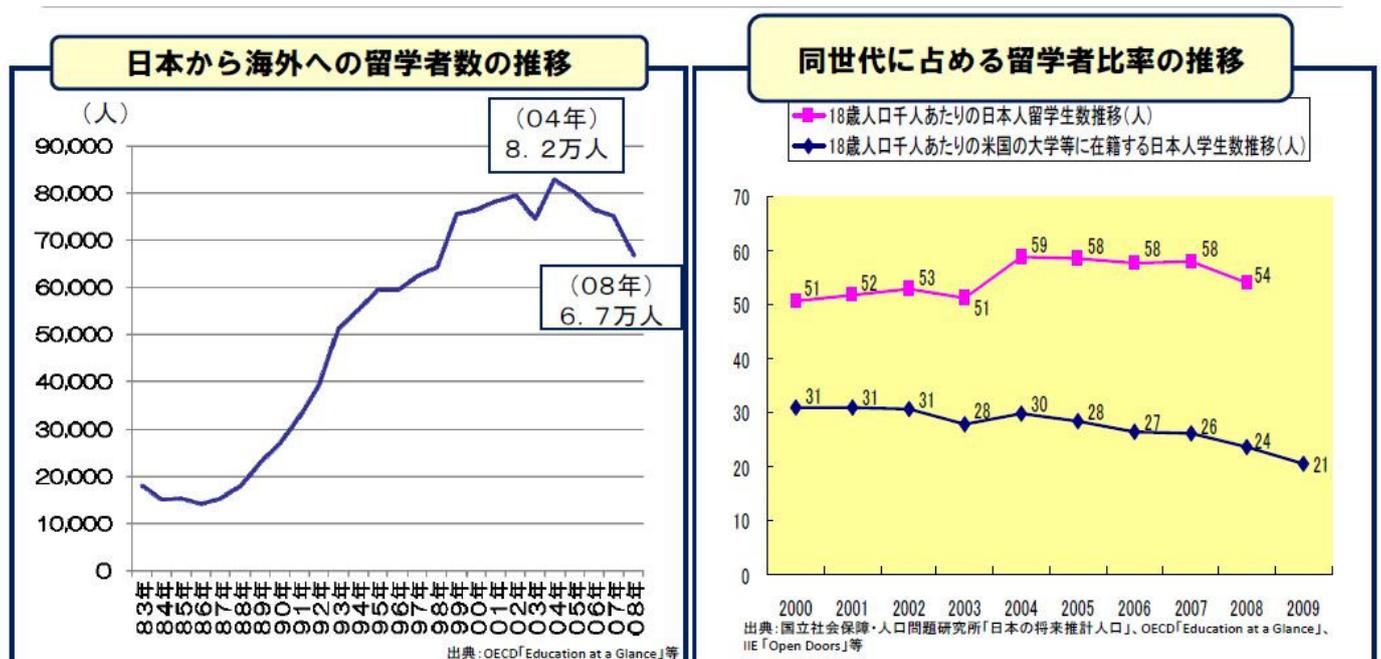
昨今、政府もやっと本腰を入れて取り組む「グローバル人材育成」ですが、では、「グローバル人材」とはどのような能力を備えた人のことを指し、何が今後の課題なのかを「グローバル人材育成推進会議」でまとめています。要素として、語学力、コミュニケーション力、主体性、積極性、チャレンジ精神、協調性、柔軟性、責任感、使命感、異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー。このほかに幅広い教養と深い専門性、課題発見と解決能力、リーダーシップなどが挙げられています。

そして、少子化と海外へ留学する日本人学生の減少、高校教育の困難化、大学教育の空洞化、企業の採用時期の早期化と長期化などさまざまな社会システム上の構造的な要因を克服するために、政府・行政が各教育機関や企業に呼びかけて生徒・学生がもっと英語や異文化に触れる環境作りをしています。海外留学の推進、TOEFLの活用、教員の資質・能力の向上などがそれにあたり、産学を巻き込んだ社会的な運動として継続的な取り組みを必要としています

私達は、その社会的使命の一旦を担っていると認識しております。

海外に1年行けば勝手に身に付くものではありません。英語力向上、異文化理解、主体性、日本人としてのアイデンティティーなど、出発までの事前学習でしっかり意識付けを促がすプログラムを組んでおり、学校の先生方や保護者の皆様と一緒に生徒のみなさんの成長につながるよう取り組んでいます。

資料：



資料：

TOEFLスコアの国別ランキングでは、日本は163か国中135位、アジアの中では30か国中27位と低位置に甘んじている。

TOEFL (iBT) の国別ランキング

※TOEFL (iBT) は120点満点

<全体順位> (163か国中)

順位	国名	TOEFLスコア
1位	オランダ	100
2位	デンマーク	99
3位	シンガポール オーストリア	98
：	：	：
80位	韓国	81
：	：	：
105位	中国	77
：	：	：
135位	カメルーン	70
135位	トーゴ	70
135位	クウェート	70
135位	日本	70
139位	ギニア	69
139位	シエラレオネ	69
：	：	：
163位	モーリタニア	58

<アジア内順位> (30か国中)

順位	国名	TOEFLスコア
1位	シンガポール	98
2位	インド	92
3位	マレーシア パキスタン フィリピン	88
：	：	：
9位	韓国	81
：	：	：
16位	中国	77
：	：	：
24位	アフガニスタン	73
24位	モンゴル	73
24位	ベトナム	73
27位	日本	70
28位	ラオス人民民主共和国	67
29位	タジキスタン	66
30位	カンボジア	63

ETS-Test and Score Data Summary for TOEFL Internet-based and Paper-based Tests
JANUARY 2010-DECEMBER 2010 TEST DATA

外国の高等学校等へ留学した高校生を派遣した学校数は、延べ1,627校(公立773校、私立854校)(平成18年度2,004校(公立1,018校、私立986校))。

先行は、45カ国・地域にわたり、アメリカが最も多く1,150人、次いでニュージーランド582人、カナダ460人、オーストラリア438人の順となっている。

なお、留學生徒数は、延べ3,190人(平成18年度3,913人)で、前回調査より18.5%減少した。

	学校数 (実数)	留学先 国・地域数	アメリカ	ニュージーランド	カナダ	オーストラリア	その他	計(延べ数)
公立	563校	41カ国・地域	473人 (328校)	65人 (56校)	89人 (66校)	115人 (86校)	248人 (237校)	990人 (773校)
私立	444校	38カ国・地域	677人 (279校)	517人 (111校)	371人 (134校)	323人 (110校)	312人 (220校)	2,200人 (854校)
計	1,007校	45カ国・地域	1,150人 (607校)	582人 (167校)	460人 (200校)	438人 (196校)	560人 (457校)	3,190人 (1,627校)

	6ヶ月未満	6ヶ月以上 12ヶ月以下	13ヶ月以上	不明	計
公立	31人	898人	61人	0人	990人
私立	199人	1,946人	55人	0人	2,200人
計	230人	2,844人	116人	0人	3,190人

※資料は経済産業省発表の資料より抜粋

日本の高等学校の復学（単位認定制度）について

1988年から、日本の高校生が海外の高校で取得した単位を1学年分(30単位)まで文部科学省が認めるようになりました。この制度により、帰国後に日本の高校に復学する場合、留年することなく進級できるようになります。

但し、単位認定の判断は在籍する学校の校長が自校の留学規定に則って判断しますので、生徒自身で出願前に在籍学校に確認をしてください。



ニュージーランドの教育制度

ニュージーランドの教育制度

ニュージーランドの教育制度は、6歳から16歳までが義務教育にあたります。5歳の誕生日を過ぎれば小学校への入学が許可され初等教育を開始します。ただし、保護者の考えにより6歳を過ぎてから初等教育を開始する児童もあり、同学年でも年齢が異なる場合があります。

初等教育課程	Primary School Year1~6 5歳から11歳
中等教育課程	Intermediate School/Middle School Year7~8 12から13歳 Secondary School Year9~13 14から18歳

学校システム：日本の中学・高等学校にあたる学年は次のようになります。

13から14歳	9年生
14から15歳	10年生
15から16歳	11年生
16から17歳	12年生
17から18歳	13年生

学校は約10週間ごとの4学期制になっています。新学期は2月から始まり、4月、7月、9月に2週間ほどの学期休みがあり、12月と1月は夏休みとなります。

Year11から学年末に「National Certificate of Educational Achievement (NCEA)」と呼ばれる全国統一試験を受験し、この成績が在学年の成績評価となる。この試験は全国統一の評価基準により学力評価として認定される。

中等教育機関は、公立校、インテグレートッドスクール、私立校の3つに分類される。全学校数のおよそ86%は公立校、10%がインテグレート、私立校は4%程度しかない。

高等教育課程

高等学校卒業者の約4割程度が高等教育機関へ進学する。一般的に高等教育機関への入学審査は、NCEA Level3の評価により決定する。

参考：1年留学2014年度公立の場合の授業料概算

1年間授業料： 825,000円 (NZD12,500×66円)

ホームステイ費用52週として：823,680円 (NZD12,480×66円)

ホームステイアレンジ費用： 9,900円 (NZD150×66円)

合計：1,658,580円 (NZD25,130×66円)

※参考のため1NZD=66円で計算しております。為替の変動があります。

※決定学校により授業料・諸費用が変わります。

※その他現地で必要と思われる費用：教科書・制服・文房具・通学費・電話・

お小遣いなど現地費用スクールトリップなど学校行事費用等がかかります。

オーストラリア 州政府教育省プログラム

オーストラリアの教育制度：

オーストラリアは、各州政府が引き受け機関としているため、質の高い留学プログラムを提供しています。

1～6年生までがプライマリースクール、7～12年生が日本で言う中学と高校が一緒になったセカンダリースクールと言います。10年生までが義務教育で大学進学希望者は11、12年生まで進みます。公立（州立）と私学は7：3の割合です。

オーストラリアの新学年は1月末に始まり、12月中旬に学年末となります。各学期は10週間程度の4学期制で、学期と学期の間に2週間程度の休みがあります。

州によってづれはありますが、おおむね各学期は1月下旬、4月下旬、7月下旬、10月中旬がそれぞれ新学期の始まりとなりますので、1年間留学なら1月出発、セメスター（学期）留学なら各新学期始まりにあわせて出発することになります。

オーストラリアの留学プログラム： 詳細は別紙冊子をご覧ください。

ビクトリア州政府教育省プログラム

州内最大都市はメルボルン。古きよき時代の面影が町中に残る街。オーストラリアは世界最先端の教育レベルを誇りますが、その中でもビクトリア州は国内第2の規模の教育システムを備えています。学校の規模や都会か地方かなど学校を選択することが可能です。

南オーストラリア州政府教育省プログラム

州内最大都市は人口120万人のアデレード。気候は穏やかで、他の都市より物価の安さが魅力です。州立学校は、全生徒に対して高いレベルの配慮とサービスを行っており、高校生のための個別学習計画、優秀な教員やキャリアカウンセリングがあります。

クイーンズランド州政府教育省プログラム

州内最大都市はブリスベン。少し南にゴールドコーストがあり、北部にはグレートバリアリーフの観光拠点となるケアンズがあります。留学生受け入れに積極的で、各学校には専門のサポートスタッフを配置していますからいつでも相談を受けることができます。

参考：1年間留学 2014年度ビクトリア州政府教育省の場合

プログラム費用 2,010,726円 (AUD25134.08×80円)

※為替は今後変動があります。

※プログラム費用に含まれるもの：授業料、ホームステイ46週間滞在費、空港出向かえ、入学手続き費用、ホームステイレイズメント費、留学生強制保険。

※現地で必要と思われるもの：教科書代、制服代、文具、通学費、遠足等学校行事、お小遣い等。

その他プログラム内容、費用などの詳細は、スタッフにお問い合わせください。



参加資格

- (1) しっかりとした目標を持ち、何事も前向きに努力し、留学を成功させようという強い意志がある人。
- (2) 心身共に健康で、自分をより良い方向に変えようと積極的に物事に取り組もうと努力する人。
- (3) 日本の親や友人、学校関係者、現地クラスメイトや学校関係者、ホストファミリーなど、周りの人に対して常に感謝し、敬意を払い接することができる人。

出願資格

- (1) 日本の全日制高等学校在学中の生徒
- (2) 異文化に適応しようと努力する人。
- (3) 保護者・在籍学校の同意と理解を得ている人。
- (4) 保護者の元を離れて自立し、海外での生活に対応できる人。
例えば、以下の理由によりお断りする場合があります。
 - ☆ 拒食症、過食症、うつ病、引きこもり、自傷行為等の経験がある、もしくは現在もその症状が見られ、現地での生活に耐えられないと判断した場合。
 - ☆ 過去に神経疾患などの加療歴があり、外国での日常生活に困難があると判断される場合。
 - ☆ 医療行為の制限や食事制限があり、現地の生活習慣に適応が困難と見られる場合。
- (5) 事前のオリエンテーションに参加し、定められた期日に責任もって諸手続き書類の提出などできる者。
- (6) 英語力はTOEFLで400点レベル以上が望ましい。
- (7) その他、各国教育省や現地学校などが定めた条件に合致する人。

注 意 事 項

留学プログラムにお申込みの際には、必ず下記の注意事項をご確認下さい。

1. 高校留学プログラム参加者は、日本の高校生としての自覚を持ち、在籍学校の規則を守り、現地滞在中も責任のある行動をとり、留学国の法律ならびに学校規則、ホスト家庭のルールを守ってください。
2. 近畿日本ツーリスト、現地スタッフ及び学校は、参加者の留学中の傷害、死亡あるいは手荷物紛失、損害に対して、個人的、法人的にもいっさいの賠償を負うことはできません。
そのため、プログラム参加者は、ご案内する海外旅行保険セットプランに必ず加入してください。
留学国によっては、政府が定める保険にも加入義務が発生します。
3. 近畿日本ツーリスト、現地受入校ならびに現地スタッフは、入学後の成績向上、進級や卒業の保証を請け負うことはできません。
4. 留学中の学校の責任による損害に対して、学校は滞在国の習慣に従った範囲内以外は賠償致しません。ホストファミリーは、いかなる賠償も負いません。
5. 留学中、外泊を伴う旅行、一時帰国の場合は、現地ホストファミリーの同意及び日本の保護者の書面による同意書が必要となります。保護者なしの旅行や高校生だけの旅行、外泊は一切禁止しています。また、旅行、外泊中の事故、損害に関して、近畿日本ツーリスト、現地受入校ならびに現地スタッフは一切の責任を負いません。
6. 留学中、学校の校則を守らなかった場合、指導後も態度を改めることが見受けられなかったり、他の生徒に悪影響を与えると判断された場合、退学となることもあります。その場合の授業料、その他諸費用など一切返金されません。
7. 飲酒・喫煙・薬物摂取・不純異性行為などは一切禁止です。たとえ該当国での法律に触れなくとも発覚した時点で即刻プログラムを中止して強制帰国となります。
8. 留学中は現地教育省や学校が指定するホストファミリー宅で生活をします。人種・国籍・職業、家族構成などを理由にホストファミリーを変更や取消しすることはできません。
9. 留学中、アパートや知人宅などへの転居は認められません。転居した場合は、サポート登録及びガーディアン(現地保護者)保証が取り消され、ビザが取り消されるなどプログラム継続が困難になります。
10. 留学中、プログラム参加者は、留学国政府より90%以上の出席が要求されており、決められた学期が修了するまで学校へ登校することが義務付けられています。規定の出席日数、成績に満たない場合は、退学となることがあります。その場合、成績証明書および修了書は発行されず、授業料、その他諸費用にあたる場所は、一切返金されません。
11. 学校を退学となった場合は、学生ビザは自動的に取り消されますので、留学プログラムを中止し、速やかに帰国しなければなりません。
このような場合、残りの授業料やサポート料などすでに支払った費用の返金はありません。また、帰国にかかる旅費はご負担いただくこととなります。
尚、日本の在籍学校で進級に必要な単位が認められずに留年となります。
12. 規則を守らず何らかの処罰を受ける場合や病気、事故など状況によっては保護者に現地に行っていた場合があります。その際にかかる旅費などはすべてご負担いただくこととなります。

留学トータルサポートサービス内容と規定

近畿日本ツーリストでは、留学にあたって現地との通信ならびに留学関係書類の記入指導や留学費用の送金などによる「入学手続きサポート」、海外支店ならびにツーリストインターナショナルアシスタンスサービスによる「現地サポート」などからなるトータルサポートサービスを設け、出発前の諸手続きから留学終了まで、総合的なお手伝いをいたします。

留学トータルサポートサービス費用	1年間留学	480,000円
	1学期間留学	350,000円
	2学期間留学	370,000円
	3学期間留学	390,000円

留学トータルサポートサービス費用に含まれるもの

- (1) 航空運賃(成田・大阪・名古屋・福岡～留学先最寄の主要都市間・エコノミークラス)
- (2) 現地空港アシスタント費用(現地国ゲートウェイ空港からさらに国内線に乗り継ぐ場合)
- (3) 各国教育省や現地校への出願など入学手続きサポート費用
- (4) 渡航手続きサポート費用
- (5) ビザ取得費用
- (6) 現地サポート費用(近畿日本ツーリストのツーリストインターナショナルアシスタンスサービスおよび東京海上日動保険会社のサービスによるトラブル発生時、生活全般の困りごとなど24時間電話による日本語サポートサービス)

留学トータルサポートサービス費用に含まれないもの

- (1) ご自宅から空港間の日本国内の交通費
- (2) 現地空港と留学先学校間の交通費(プログラム費用に含まれていない場合)
- (3) 旅券取得にかかる費用(印紙代、証紙代など)
- (4) 翻訳料(入学手続きに必要な英文書類作成、保護者への成績表送付など)
- (5) 航空会社規定の範囲を超える超過手荷物料金
- (6) 海外旅行保険代
- (7) 特別なサポートが必要となった場合の実費(専門通訳派遣、移動の手配など)
- (8) 空港税および出国税(日本国内空港施設使用料、および現地空港税)
- (9) 燃油サーチャージ

支払いに関する規定

- (1) 入学申請時:登録料 100,000円(トータルサポートサービス費用に充当)
- (2) 現地学校からの合格通知が届き入学手続き時:入学金・授業料など留学プログラム費用
(留学プログラム費用は、留学先学校により授業料などが違いますので、別途ご案内いたします。)
- (3) 出発の1ヶ月前:トータルサポートサービス費用残金

お振込み先

別途ご案内します。

取り消しに関する規定

参加者の都合ならびに該当国によるビザ発給拒否などの理由により、留学を取り消す場合には、以下の取消料を申し受けます。

- (1) 選考料お支払い後……………選考料35,000円の返金はありません。
- (2) 入学願書提出後……………登録料100,000円の返金はありません。
- (3) 入学許可書発行後～出発の1ヶ月前まで……………上記および各教育省規定の取消料
- (4) 出発の前々日まで……………上記およびサポート費用の50%と各教育省規定の取消料
- (5) 出発日当日まで……………サポート費用全額および各教育省規定の取消料
- (6) 出発後(途中帰国)……………すべての費用に対して返金はありません。

(但し、現地教育省からの返金があった場合にはその額を返金いたします。)

留学プログラム申し込み方法と手順

お申込み方法

- ①まずは留学相談(無料カウンセリング)または在籍学校にて留学説明会を行います。
お気軽に弊社までお電話いただくか、在籍学校の国際交流担当の先生にご相談ください。
- ②留学する意思が固まれば、「長期留学プログラム選考願書」に必要事項をご記入の上ご提出ください。
また、同時に選考料35,000円を近畿日本ツーリストの銀行口座にお振込みいただき、入金確認をもって正式申し込みとなります。
- ③書類選考と本人と保護者同伴による面接を行います。(学校によっては先生が立ち会う場合があります)
プログラムによっては英語力判定テストを受験していただく場合があります。
- ④各教育省が発行する入学申請書をお渡しいたしますので、ご案内する必要書類(出身中学校含む過去3年間の成績表コピーや在籍学校長推薦書など)をご準備ください。

お問い合わせ・留学相談・お申込み先

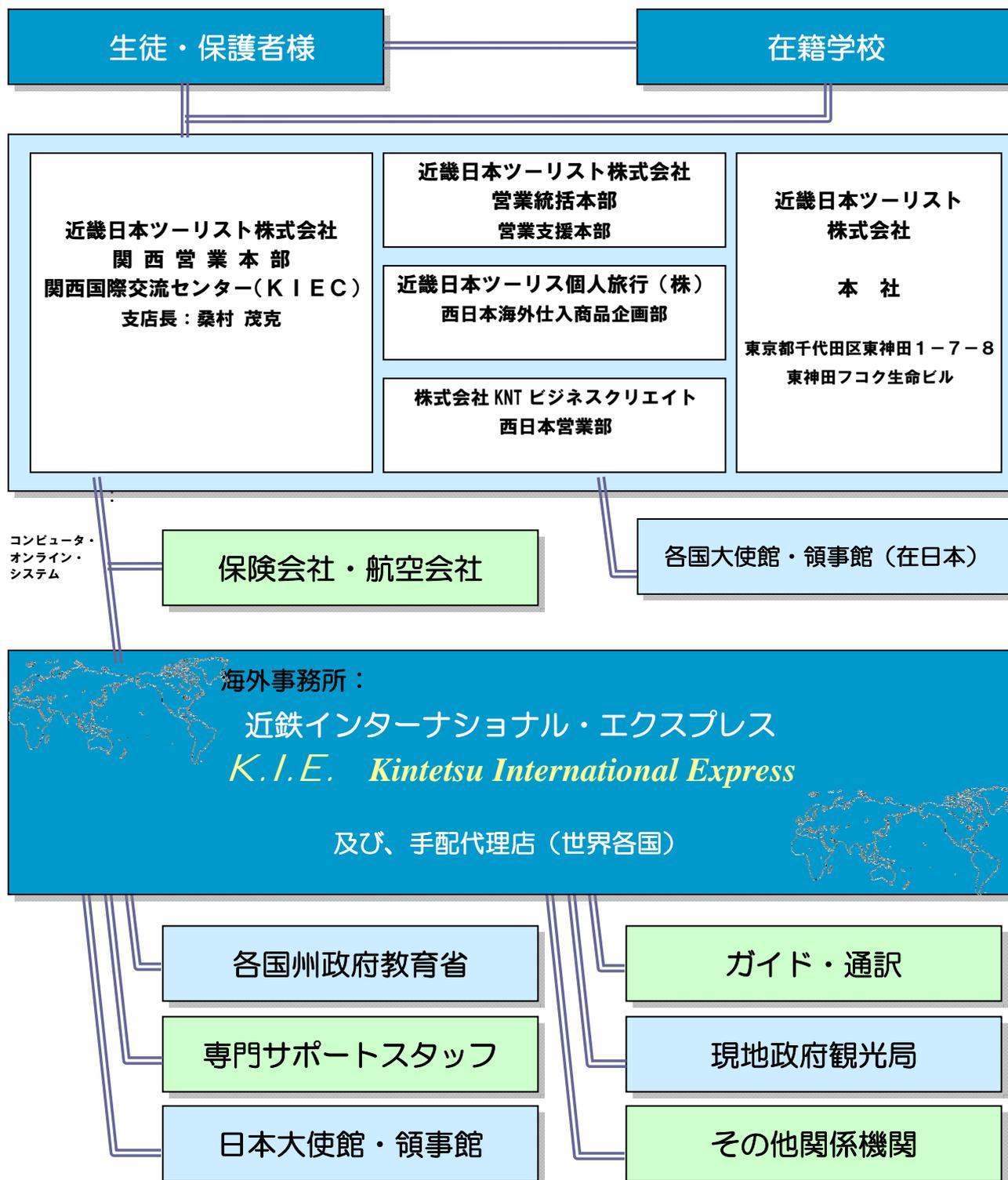
近畿日本ツーリスト株式会社 関西国際交流センター(KIEC)
〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-4-38 近鉄新難波ビル8階
TEL:06-6634-0690 FAX:06-6634-0693
デスク担当:青 祥子
営業時間:月曜から金曜日 9:15~18:00

メールでの相談も受け付けております。

kiec@or.knt.co.jp

近畿日本ツーリストの留学実施体制

ご留学の申し込みから出発～留学中～帰国までスムーズに運営するために、生徒様・保護者様・在籍学校、そして現地州政府教育省など各関係協力機関と密接な連携を保ちます。



カウンセリング～出発～留学生活～帰国までのステップ

留学準備スケジュールと費用お支払いのタイミング

1	<p>留学相談（無料カウンセリング） 留学開始の約4～8ヶ月前</p> <p>個人別、あるいは学校での説明会も行います。しっかりと自分の意思を持ち、まずは保護者や先生に相談してください。その上で弊社へご連絡くだされば、納得のいくまでカウンセリングをいたします。</p>
2	<p>出願 留学開始の4～6ヶ月前</p> <p>所定の選考願書に記入と選考料（書類選考料・面接選考料）35,000円をお支払いください。出身中学校含む過去3年間の成績表コピー（出席日数もわかるもの）、在籍学校長による英文推薦状をご提出準備ください。</p>
3	<p>1次選考 出願後速やかに</p> <p>書類選考、本人と保護者同伴による面接実施。面接では本人の意思確認、学校や家庭での生活態度、コミュニケーション力など保護者の方には留学の理解度、親として留学に送り出す心構えなどをお聞きします。</p>
4	<p>2次選考・現地校への出願 1次選考通過後速やかに（留学開始の3～5ヶ月前）</p> <p>相談の上留学国やプログラムを確定して必要書類と共に現地校へ出願手続きを行います。サポート費用内金10万円お支払い。現地教育機関からの請求により予約金をお支払いいただく場合があり、いかなる場合も返金されない場合があります。</p>
5	<p>合否決定</p> <p>現地から合否通知が届きます。合格後、入学金、授業料などをお支払いいただきます。成績によっては正規授業に入る前に英語力アップのための英語集中クラス（ESLクラス）から始めることなど条件付き合格となり追加費用が発生する場合があります。</p>
6	<p>出発準備・オリエンテーション・旅券取得・ビザ取得・航空券手配・保険加入</p> <p>いよいよ留学のための出発準備を開始します。渡航説明、留学生活のケーススタディー、文化習慣の違いなど留学を成功させるためのオリエンテーションを行います。サポート費用残金、保険代などお支払い。</p>
7	<p>出発～現地オリエンテーション～留学生活開始</p> <p>最初は緊張の日々ですが、明るく積極的に接していればすぐに友達ができることでしょう。過度な遠慮は禁物です。自己主張できる強い意志をもちましょう。常に目的意識を持ち、有意義な留学生活を楽しみましょう</p>
8	<p>帰国～帰国後オリエンテーション～進路相談</p> <p>長いようで振り返ってみるとアツという間の留学でしょう。帰国後事後指導オリエンテーションを行い、経験を今後どう活かしていくか、また日本の大学や海外の大学への進学相談もいたします。</p>

留学成功のポイント

- ① 将来なりたい自分を見据え、留学の目的を明確にしましょう。
- ② 留学は自己成長のために、親元を離れ苦勞をしに行くと思ひましょう。
- ③ 常に明るく前向きに考えましょう。
- ④ 人間一人でできる事には限界があります。周りの人に感謝しましょう。
- ⑤ 自立と自律。高校生は責任ある立派な大人と自覚しましょう。

Q&A

Q①授業料や滞在費などのプログラム費、および生活費はどれくらいかかりますか？

オーストラリアの場合プログラム費用としては年間200～300万円が目安でしょう。現地では、留学スタート時は教科書代、制服代、生活雑貨など購入費が必要ですが、その後の生活費としては月に1～2万円でしょう。奨学金制度もありますので、申し込み時にご相談ください。

Q②途中で挫折しないか不安です。

まずは留学の目的をしっかりと持ちましょう。将来なりたい職業のために英語力が必要であったり、自己成長のためであったりしますが、目標がしっかりしていれば頑張れるものです。しかし現実逃避型の留学は失敗のもとです。明るく前向きであればきっと支援してくれる貴重な友達にもめぐり合せ、一生の財産となります。

Q③高2で出発して高3で帰国したら受験勉強が間に合わないと思ひ不安です。

最近では、大学入試にAO入試（一芸入試）というものが多くなり、英語力で難関大学に進学する生徒が多いです。英語だけに限らず、他の教科への学習意欲も備わり、決して不利になることはありません。また、中3からカウンセリングを受けて準備を始めて高校入学と同時に願し高1で出発する方法もあります。そうすれば高2で帰国しますので、余裕をもって受験対策が取れます。

Q④英語力に自信がなく、授業についていけるでしょうか？

最初は誰でもそう感じます。留学は準備段階から始まっています。英字新聞や映画を字幕なしで観るなど出発までに少しでも生の英語に慣れておきましょう。また現地では、正規授業に入る前に英語集中コース（ESL）を受けて自信を付けるのも一案です。

Q⑤ホストファミリーやクラスメイトとうまくやっていけるか、ホームシックも不安。

日本人特有の控えめなところは時として誤解される原因となります。遠慮せずに自分の意見が言えるようにしましょう。相手に伝える努力をすれば必ず伝わり誤解も解けます。そこで投げやりになったり逃げないことが肝心です。到着後しばらく経つと、ホームシックにもなります。その時にこそ積極的に話しかけて友達を増やしたり、好きな音楽やスポーツなど自分なりの気分転換方法を身に付けておきましょう。日本へ電話してもホームシックが解消されることは稀です。

Q⑥病気や事故の場合はどうすればいいですか？

KNTには、世界主要都市に24箇所の現地支店が対応します。また、東京海上日動保険会社の「海外安心110番」やヨーロッパ・アシスタンス社と提携し、世界各地の医療サービス機関をネットワークで結んでおります。世界160カ国に2,500名の医師と15,000軒の病院が登録され、世界の主要拠点では24時間体制の日本語救急サービスを実施。緊急の事態にもすばやく対応できる体制をとっています。

近畿日本ツーリストの緊急連絡網と特別補償

万が一、事故や病気などの緊急事態が発生したときも、
機動力のある体制で対応いたします。連絡網も補償制度も万全です。

特別補償（海外受注型企画旅行）

近畿日本ツーリスト株式会社は、当社、又は当社の手配代行者等の故意、又は過失により旅行者に損害を与えたときは、その損害を賠償する責任に任じます。（お荷物に関する賠償限度額は一人10万円）

但し、損害発生の日から起算して2年以内に当社に対して通知があった場合に限りです。

次のような場合は原則として責任を負いません。

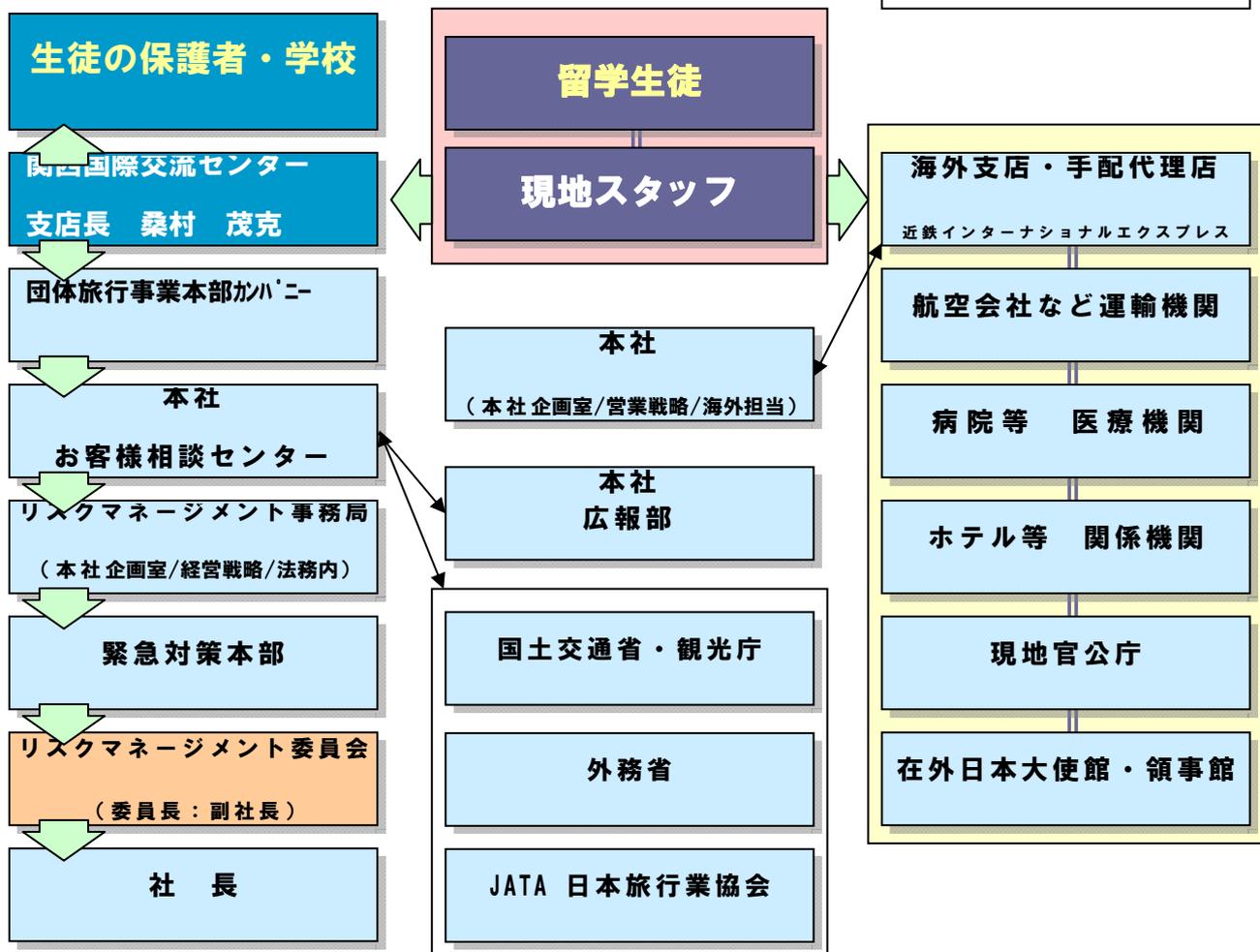
天災地変・戦乱・暴動・運送宿泊機関の事故、若しくは火災、運送機関の遅延・不通、又はこれらのために生ずる旅行日程の変更、若しくは旅行の中止、官公署の命令・出入国規制、伝染病による隔離、自由行動中の事故・食中毒・盗難など。

又、当社は特別補償規定に基づき、企画手配旅行参加中に旅行者の身体に生じた一定の損害について補償金、及び見舞金（ケガによる死亡は2,500万円、ケガによる後遺障害は最高2,500万円、ケガによる入院は最高40万円）を支払います。

なお携帯品の損害については補償の対象とはなっていません。

* 詳細は当社の旅行業約款（海外企画手配旅行の部）に定めるところによります。

近畿日本ツーリストの 海外緊急連絡網

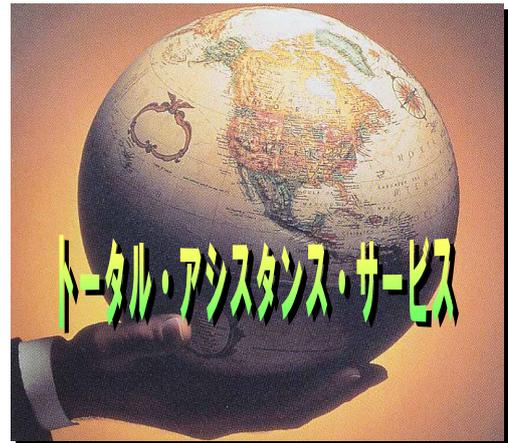


近畿日本ツーリストの「トータル・アシスタント・サービス」

近畿日本ツーリストでは、留学先での色々なトラブルや事故、様々なご相談にお応えする画期的な サービスシステム「トータル・アシスタンス・サービス」を実施しています。

的確な最新の旅行関係情報サービスや素早く適切な医療・緊急時のサービスを提供。

安心・快適な旅をお楽しみいただくため、世界各地の安心の「ツーリスト・アシスタンス・デスク」を設置いたしております。



サービスの内容

★旅行・ビジネス関連情報の提供

- 各国・各都市の情報
- 航空機・鉄道・バス・レンタカー等の交通機関情報
- ホテル・レストラン・ショッピング情報
- 美術館・博物館等の情報
- 博覧会・見本市・イベント・スポーツ等の情報
- 交通・宿泊機関等の予約・手配
- 通訳・翻訳・ガイド等の手配サービス

★トラブル発生時のアシスタンスサービス

- 旅券・航空券等の紛失・盗難にあった場合の大使館・警察等への必要手続きの情報及び援助
- クレジットカード・トラベラーズチェック等の紛失・盗難にあった場合の無効手続き
- 法律事務所の紹介

★緊急時の医療情報と支援サービス

- 24 時間体制の日本語救急サービス
- 救急病院の紹介・手配
- 緊急輸送機関の手配（救急車・チャータージェット機・ヘリコプター・定期便航空機等）
- 付添え医師・看護婦の手配
- 転院の手配
- 救援者の航空機・ホテル・捜索救援機関等の紹介手配
- 東京海上・海外安心 110 番（年中無休 24 時間体制）

ネットワーク

【運営会社】

近畿日本ツーリスト株式会社

ツーリスト・インターナショナル・アシスタント・サービス

近鉄インターナショナル・エクスプレス

〔世界 24 拠点〕 ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シカゴ、ホノルル、グアム、サイパン、バンクーバー、トロント、パリ、ロンドン、フランクフルト、ローマ、マドリッド、アムステルダム、ウィーン、シドニー、メルボルン、ゴールドコースト、ケアンズ、香港、シンガポール、（北京、上海は情報提供のみとなります）

【サポート会社】

東京海上火災

海外旅行傷害保険の最大手会社で海外 44 都市において 110 余名日本人駐在員による日本語保険相談サービスをおこなっています。

東京海上・海外安心 110 番（年中無休 24 時間体制）

ヨーロッパ・アシスタンス社

パリに本社があり、世界最大のアシスタンス会社。

世界 160 カ国に 200 の専属代理店を持ち、2,500 名の登録医師と 15,000 軒の登録病院を抱え、世界 15 カ国に 27 ヶ所の 24 時間体制センターを持っています。

近畿日本ツーリストの海外ネットワーク

世界中のどのような場所でも、快適で思い出に残る旅を皆様にお届けするために、世界主要都市に直営拠点を設置しています。さらに、よりきめ細かなサービスを提供するために、世界各地に提携代理店網を整備し、万全の体制で皆様の信頼にお応えします。



【ヨーロッパ地区】

Kintetsu International Express (Europe) B.V.

●アムステルダム事務所
2nd floor Edison Building Stroombann4
Amsterdam, 1181 VX The Netherlands
TEL: [31] (020) 504-6600
FAX: [31] (020) 504-6611

●ロンドン事務所
7th floor 4 golden square London
W1F 9HT United Kingdom
TEL: [44] (020) 7734-0317
FAX: [44] (020) 7437-1401

Kintetsu International Express Ges.m.b.H.

●フランクフルト事務所
Zeil 81
60313 Frankfurt/Main, Germany
TEL: [49] (069) 1381-0510
FAX: [49] (069) 1381-0570

Kintetsu International Express (France) S.A.R.L.

●パリ事務所
5 Rue du Havre
75008 Paris, France
TEL: [33] 01 42 61 39 76
FAX: [33] 01 42 61 40 18

Kintetsu International Express (Spain) S.A.

●マドリード事務所
c/Marques de Urquijo 10 2nd floor
28008 Madrid, Spain
TEL: [34] 91559-5112 FAX: [34] 91559-8713

Kintetsu International Express (Italia) S.R.L.

●ローマ事務所
Via Goito 24 Scala A Int 4
00185 Roma ITALIA
TEL: [39] (06) 4212-2001
FAX: [39] (06) 4212-2226

【ミクロネシア地区】

Pacific Development Inc.

●サイパン事務所
c/o Hafadai Beach Hotel Garapan PO Box 500502
Saipan M.P. 96950-0502
Commonwealth of the Northern Mariana Islands (CNMI)
TEL: [1] (670) 322-8770
FAX: [1] (670) 322-8794

Micronesia Holiday Tours Inc.

●グアム事務所
Suite 201 Photo Town Plaza,
353 Chalan San-Antonio, Tamuning, Guam 96911
U.S.A.
TEL: [1] (671) 646-7641
FAX: [1] (671) 646-6518

【アジア地区】

近畿日本国際旅行社

●北京事務所
中華人民共和国北京市朝陽区建国門外大街甲26号
景福宮ビル4008号
TEL: [86] (010) 6513-8561
FAX: [86] (010) 6513-9828

●上海事務所
中華人民共和国上海市盧湾区淮海中路887号永新大
6012B
TEL: [86] (021) 6472-2686
FAX: [86] (021) 6472-1542

Kinki Nippon Tourist CO., Ltd.

(Singapore Representative Office)

●シンガポール事務所
c/o World Holidays (PTE) LTD.
#3-14/15 Orchard Plaza, 150 Orchard Road, Singapore 238841
TEL: [65] 6732-6282 FAX: [65] 6733-4977

Kinki Nippon Tourist CO., Ltd.

(Bangkok Representative Office)

●バンコク事務所
c/o Thaishinn Express Co., Ltd.
Room No. 1106 Wall Street Tower,
No. 33/52 Surawong Road, Bangkok 10500, Thailand
TEL: [66] (02) 237-0996 FAX: [66] (02) 238-1381

【オセアニア地区】

Kintetsu International Express (Oceania) Pty., Ltd.

●シドニー事務所
Level 13, Citigroup Centre, 2 Park Street,
Sydney, N.S.W. 2000, Australia
TEL: [61] (02) 8251-3333 FAX: [61] (02) 8251-3374

●ケアンズ事務所
Mezzanine Level Pacific International Hotel 43 Esplanade
Cairns, QLD 4870 Australia
TEL: [61] (07) 4031-1551 FAX: [61] (07) 4031-1506

●ゴールドコースト事務所
Level 1 Olympia Court 43059 Surfers Paradise Boulevard
Surfers Paradise, QLD 4217 Australia
TEL: [61] (07) 5581-5000 FAX: [61] (07) 5581-5080

●オークランド事務所
Level 5, Phillips Fox Tower, National Bank Centre,
205-225 Queen Street, Auckland 1, New Zealand
(P.O.Box 105233 Auckland Central)
TEL: [64] (09) 357-6490
FAX: [64] (09) 357-6494

【アメリカ・ハワイ・カナダ地区】

Kintetsu International Express (U.S.A.) Inc.

●ニューヨーク事務所 (TCC本社)
1290 Avenue of the Americas, Suite 900
New York, N.Y. 10019, U.S.A.
TEL: [1] (212) 259-9700 FAX: [1] (212) 259-9705

●ニュージャージー支店
500 Route 17, Hasbrouck Heights, NJ 07604 U.S.A.
TEL: [1] (201) 288-2871 FAX: [1] (201) 288-0647

●シカゴ事務所
One Pierce Place, Suite 135C,
Itasca, IL 60143 U.S.A.
TEL: [1] (630) 250-8840 FAX: [1] (630) 250-8574

●ロスアンゼルス事務所 (KIE本社、TOC本社)
879 W 190th Street Suite 720 Gardena
CA 90248-4220, U.S.A.
TEL: [1] (213) 622-6500 FAX: [1] (213) 623-3210

●サンノゼ支店
2290 North First Street, Suite 333
San Jose, CA 95131-2017 U.S.A.
TEL: (408) 544-2440 FAX: (408) 383-0517

●ホノルル事務所 (KIH本社)
Waikiki Business Plaza, Suite 1400, 2270 Kalakaua Avenue,
Honolulu, HI, 96815-2562 U.S.A.
TEL: [1] (808) 926-8177 FAX: [1] (808) 923-1570

●ホノルル空港分室
Ewa Gull Wing Bldg., 360 Room 170E,
Honolulu, HI, 96819 U.S.A.
TEL: [1] (808) 838-0200 FAX: [1] (808) 838-0213

●マウイ分室
Maui Mall Shopping Center, 70 East Kaahumanu Avenue,
Kahului, Maui, Hawaii 96732 U.S.A.
TEL: (808) 877-4414 FAX: (808) 871-6721

Kintetsu International Express (Canada) Inc.

●バンクーバー事務所
1140 West Pender Street, Suite 910,
Vancouver, B.C. V6E 2Y3 Canada
TEL: [1] (604) 638-9300 FAX: [1] (604) 688-7725

●トロント事務所
1550 Enterpriser Road, Suite 210
Mississauga, Ontario L4W 4P4 Canada
TEL: [1] (905) 670-8737
FAX: [1] (905) 670-9296

近畿日本ツーリストのプロフィール

時代とともに、「旅」は変わります。
近畿日本ツーリストは、今、新たな時代へ旅立ちます。

私たちの夢

私たちの夢は、地球上に暮らす 60 億の人々とともに、はつらつたるよるこびに満ちた社会を創りあげることです。その実現のために、多くの人々に、人、自然、文化、歴史との出会いをもたらす旅や余暇活動を創り出します。多くの人々が、出会い、感動、学び、健康、安らぎをもたらすさまざまな営みをもって、近畿日本ツーリスト・グループの事業とします。多くの人々が、心の豊かさを求めていくことに、限らない力を注ぎ続ける存在であることを誓い、自らの誇りとします。

動かすエナジーあります

トラベル・エージェントから、トータル・ソリューション・カンパニーへ。旅行代理店として培った、「ソリューション」と「ホスピタリティ」の独自のノウハウを、より広い、コミュニケーションのさまざまな領域で活用する。それが新しい近畿日本ツーリストの理念です。人が動くところに、ビジネスが生まれる。そして、ビジネスの成果が、人の心を動かす。近畿日本ツーリストの「動かすエナジー」を、あらゆるシーンでお役立てください。



■解決へのエナジー

日本各都市そして世界を結ぶ機動的なネットワーク、多様なタスクに対応する高いポテンシャルを備えたシステムソフト、すべてのフェイズで効力を発揮するスペシャリスト集団によるトータル・プロデュース…そのすべてが、さまざまなコミュニケーションの課題へ、最適の手段で、最大の効果を導くための、近畿日本ツーリストのソリューションです。

■おもてなしの心

くつろいでもらうこと、楽しんでもらうこと、感動してもらうこと…近畿日本ツーリストが「旅づくり」をつうじて、永いときをかけて培ってきたことです。「おもてなしの心」は、他のどこにもない、胸をはってお伝えできるわれわれだけの財産。この自信のノウハウがあらゆるシーンで活かされ、人の気持ちを動かし、ビジネスを成功に導きます。

会社概要

設立 資本金 株式 代表 登録番号	平成24年 100百万円 東証・大証 第1部上場 取締役社長 小川 亘 観光庁長官登録旅行業第1944号	本社 事業所 社員数	〒101-8641 東京都千代田区東神田1-7-8 東神田フコク生命ビル 92カ所 2100名
-------------------------------	--	------------------	---

関連会社・団体

●旅行

近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社
近畿日本ツーリスト個人旅行販売株式会社
クラブツーリズム株式会社
株式会社近畿日本ツーリスト北海道
株式会社近畿日本ツーリスト東北
株式会社近畿日本ツーリスト中国四国
株式会社近畿日本ツーリスト九州
株式会社近畿日本ツーリスト沖縄
株式会社KNT ASIA
株式会社ユナイテッドツアーズ
株式会社近畿日本ツーリスト神奈川
株式会社昭和トラベラーズクラブ
三喜トラベルサービス株式会社
KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (USA), INC.
KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (CANADA), INC.
KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (EUROPE), BV.
KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS GERMANY, GmbH.
KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (FRANCE), S.A.R.L.
KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (SPAIN) S.A.
KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (ITALIA) S.R.L.
KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (OCEANIA) PTY, LTD.
MICRONESIA HOLIDAY TOURS, INC.
PACIFIC DEVELOPMENT INC.
近畿国際旅行社（中国）有限公司
近畿国際旅行社（香港）有限公司
日商近畿国際旅行社（股）有限公司

●商事

株式会社近畿日本ツーリスト商事
●地域振興
株式会社ティール・ゲート
●労働者派遣業務
株式会社ツーリストエキスパート
●受託
株式会社KNTビジネスクリエイト
●情報処理
株式会社NTTデータテラノス
●アシスタント業務
ツーリストインターナショナルアシスタンスサービス株式会社
●イベント&コンベンション企画
株式会社イベントアンドコンベンションハウス
●ホテル
株式会社箱根高原ホテル
株式会社奥日光高原ホテル
●再保険引受業務
H&M INSURANCE HAWAII, INC.
GRIFFIN INSURANCE CO., LTD.
●関係会社・団体
近畿日本鉄道株式会社
株式会社近鉄エクスプレス
近畿日本ツーリスト協定旅館ホテル連盟
財団法人全国修学旅行研究協会
旅の文化研究所
ウィッシュインターナショナル株式会社

